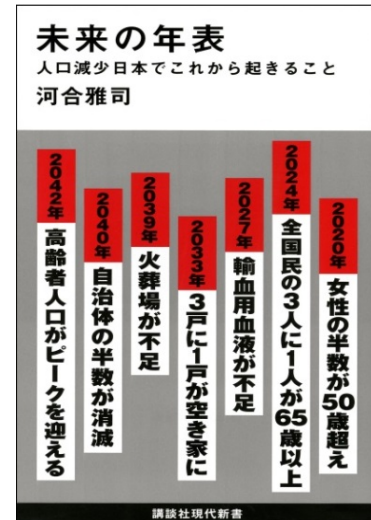


「未来の年表 人口減少日本でこれから起きること」

著者：河合雅司

発行：講談社

今、日本が少子高齢化社会に突入していることについては多くの方がすでにご存じだろう。しかし、その実態について正確に把握している人は意外に少ないようだ。僕自身も日常生活の中で少子高齢化を実感するような機会はほとんどなく、今後の社会への影響についても分からないことやピンとこないことが多すぎて、正直深く考えたことはなかった。そんな時に出会ったのがこの本である。



少子高齢化による人口減少が今後の日本社会（我々の暮らし）にどのような影響を与えていくのか、今後、日本でどのような問題が生じていくのか、ジャーナリストの河合雅司氏によって詳しく書かれている。

「現実に起こりえること」としてありのまま受け入れるには非常に重たいものばかりではあるが、いずれ自分たちに降りかかってくる問題であること、このまま無関心でいてはいけないといったことがよく理解できる内容であった。

この本を読んだからといって、問題を確実に回避できるわけではなく、個人レベルで対策できるようなことも少ないが、このまま何も知らずにいるよりも知っておいた方が良く、全く意識せずに過ごしていくよりも今から少しでも意識しておいた方が良くという意味では、多くの人にお勧めしたい一冊である。